

仮設歩道橋の整備

気仙川に掛かる昭和橋(昭和8年架設)は、世田米商店街と役場などを結ぶ重要な生活橋です。

しかし、近年の局地的な豪雨等による洪水等で上流からの木が橋に引っかかり、川の水をせき止める等の浸水被害を及ぼす恐れがあります。

そのため住田整備事務所では、現在、新しい昭和橋建設に向けて、工事を進めています。現在の橋の解体が始まると、国道107号の美土里橋・瀬音橋町道の清水橋を迂回していただくこととなりますが、世田米小学校、世田米中学校の通学路になっているなど、歩行者の利用が多いことから、現在の橋の下流200^{メートル}付近に、仮設歩道橋をつくることになりました。

(延長66^{メートル}、全幅2.6^{メートル}、うち歩道部分2^{メートル})

仮設歩道橋の通行は、現橋解体工事の着手と同時を予定しています。

ご不便をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

川向側



世田米駅側



昭和橋

仮設歩道橋



発行所

沿岸広域振興局土木部
大船渡土木センター
住田整備事務所
〒029-2311
気仙郡住田町世田米
字川向102-1

TEL : 0192-22-8182
FAX : 0192-46-3715
E-mail : BG0008@pref.iwate.jp



上部工を3スパンに分けて据付けました。
1スパンは約10tです。
機械は150t吊りクレーンを使って吊り上げています。



住田整備事務所による
気仙川河川改修工事の説明

有住小学校4年生による気仙川源流から河口までの、川の流れを学習目的とした校外学習が9月16日(水)に行われました。下有住地区にある「松日橋」を見学した後、世田米地区まで移動し、住田整備事務所の職員が、拡大した写真などを利用して、現在県が進めている河川改修の計画や工事について、内容等を説明しました。

有住小学校の 校外学習に

参加しました



高田松原海岸防潮堤の工事見学

また、気仙川漁業協同組合様と気仙川改修工事を実施している株式会社船野組様の協力を得て、ヤマメの稚魚放流を行いました。



ヤマメの稚魚放流

その後、気仙川河口まで下り、建設中の防潮堤工事現場を見学しました。大船渡土木センターの工事担当から説明を受け、防潮堤の大きさに驚いていました。



陸前高田市:高田松原

最後に、高田松原海岸に行き、砂浜で海とふれあいました。
これを機会に川や海、水への関心や興味を深めていただければと思います。
児童のみなさんから、「かっこいい! プロの仕事! がんばれ!」とエールと横断幕で元気を頂きました。